

令和6年度

取り組む事業の
あらまし



津別町のしごと



津別町

発刊にあたって

本町の令和6年度予算は、全6会計あわせて96億4,640万円です。前年度と比べ、4.4%の増となりました。

令和6年度につきましては、第6次総合計画をはじめ、個別事業計画を推進するとともに、医療・福祉施策の充実、緊急性と住民要望の高い事業、持続可能なまちづくりに向けた計画的な施策とともに、各事業の必要性や費用対効果などの点検、見直しを行い予算編成をしています。令和6年度予算を構成する主な事業を紹介したものが、この「津別町のしごと」です。

令和6年度予算は、5年目となる「津別町第6次総合計画」や総合戦略、福祉、障がい者等の各種計画を基本に編成したものであります。特に、第6次総合計画につきましては、総合計画推進委員会による検証が行われており、推進委員会よりいただいたご意見やご提言をしっかりと受け止め、10年後に目指す津別町の将来像「暮らしたい、魅力あふれるエコタウン」に到達できるよう着実に取組を推進して参る所存であります。

新型コロナウイルスの影響が今なお続く中、世界情勢はさらに不安定な状況が進み、また、大きな天災が日本でも起こるなど、社会状況は不安ばかりではありますが、その中でもデジタル化社会をさらに加速させ、人的支援の必要な部署への人員配置を進めていく考えであります。経済的にも政治的にも新たな変換期に向かって社会構造の変化が進んでいると思われませんが、その波に乗り遅れることなく、本年度も職員と一丸となり、町づくりに取り組んで参ります。

令和6年4月 津別町長 佐藤多一

もくじ

1	令和6年度津別町一般会計予算	1
2	令和6年度の主な事業	5
	住民企画課	5
	保健福祉課	7
	産業振興課	12
	建設課	15
	生涯学習課	20
3	令和5年度出前講座一覧	24
4	資料	26
	各会計別の当初予算総括表	26
	各種団体等に対する補助金・交付金	27
	各種施設等の維持管理経費	30
	町の貯金と借金	33
	オホーツク管内市町村との比較	35

令和6年度 津別町一般会計予算

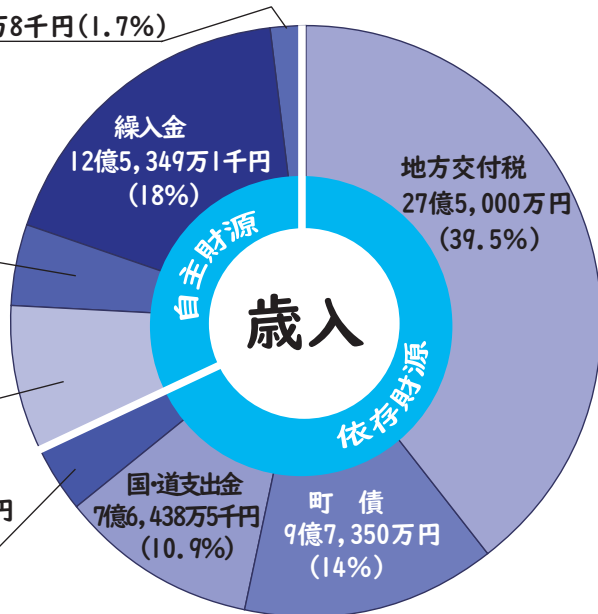
総額 69億6,900万 (前年比7.5%増)

諸収入 1億1,635万8千円(1.7%)

分担金及
負担金など
3億281万9千円
(4.4%)

町税
5億5,538万5千円
(8%)

地方譲与税、
各種交付金
2億5,306万2千円
(3.5%)



今年度の一般会計予算は69億6,900万円で、前年と比べて、4億8,800万円、7.5%の増となりました。主な要因は、トレーニングセンター施設整備事業、給食センター整備事業の増によるものです。

歳入

自主財源

科目	令和6年度予算額	令和5年度予算額	増減額	増減率	歳入に占める割合
町税	5億5,538万5千円	5億5,301万6千円	236万9千円	0.4%	8.0%
分担金及負担金	3,185万0千円	5,779万9千円	△2,594万9千円	△1.6%	0.5%
使用料及手数料	1億2,094万6千円	1億2,160万9千円	△66万3千円	△0.5%	1.7%
財産収入	4,352万1千円	5,426万3千円	1,074万2千円	△19.8%	0.7%
寄附金	1億650万1千円	1億500万1千円	150万0千円	1.4%	1.5%
緑入金	12億5,349万1千円	13億1,037万2千円	△5,688万1千円	△4.3%	18.0%
緑越金	1千円	1千円	0千円	0.0%	0.0%
諸収入	1億1,635万8千円	7,214万1千円	4,421万7千円	61.3%	1.7%
小計	22億2,805万3千円	22億7,420万2千円	△4,614万9千円	△2.0%	32.1%

依存財源

科目	令和6年度予算額	令和5年度予算額	増減額	増減率	歳入に占める割合
地方譲与税	1億1,974万0千円	1億573万0千円	1,401万0千円	13.3%	1.7%
利子割交付金	10万0千円	20万0千円	△10万0千円	△50.0%	0.0%
配当割交付金	130万0千円	130万0千円	0千円	0.0%	0.0%
株式等譲渡所得割交付金	110万0千円	70万0千円	40万0千円	57.1%	0.0%
法人事業税交付金	1,020万0千円	1,000万0千円	20万0千円	2.0%	0.1%
地方消費税交付金	1億1,100万0千円	1億1,500万0千円	△400万0千円	△3.5%	1.6%
自動車税環境性能割交付金	790万0千円	600万0千円	190万0千円	31.7%	0.1%
地方特例交付金	110万0千円	130万0千円	△20万0千円	△15.4%	0.0%
地方交付税	27億5,000万0千円	26億5,000万0千円	1億0万0千円	3.8%	39.5%
交通安全対策特別交付金	62万2千円	63万2千円	△1万0千円	△1.6%	0.0%
国庫支出金	3億8,575万4千円	3億7,711万1千円	864万3千円	2.3%	5.5%
道支出金	3億7,863万1千円	3億6,992万5千円	870万6千円	2.4%	5.4%
町債	9億7,350万0千円	5億6,890万0千円	4億460万0千円	71.1%	14.0%
小計	47億4,094万7千円	42億679万8千円	5億3,414万9千円	12.7%	67.9%
合計	69億6,900万0千円	64億8,100万0千円	4億8,800万0千円	7.5%	100.0%

【用語解説】

自主財源 とは

町が自らの責任において、自主的・主体的に収入することができる財源です。

科 目	解 説
町 税	町民税、固定資産税、軽自動車税、町たばこ税、入湯税です。
分 担 金 及 負 担 金	分担金とは、町が一部や特定の人に対して特に利益のある事業を行う場合に、その必要な費用に充てるため、利益を受ける人から徴収するお金のことです。 負担金とは、一定の事業について特別の利害関係がある人から、その事業にかかる費用を、受益の程度に応じて徴収するお金のことをいい、分担金と似た性格をもっています。
使 用 料 及 手 数 料	使用料とは、町が所有している施設などを利用するときに、納付されるお金のことです（各施設使用料、町営住宅使用料など）。 手数料とは、町が特定の人へ行うサービスの対価として納付されるお金のことです（戸籍手数料、ごみ処理手数料など）。
財 産 収 入	町が所有している財産に対する貸付や売り払いの対価や基金の運用利息等のことです（土地建物貸付料、町有林素材売払代金、各種基金の利子収入など）。
寄 附 金	町に対する寄附です。ふるさと納税を含みます。
繰 入 金	基金（貯金）からの取り崩しです。
繰 越 金	前年度からの繰越金です。
諸 収 入	学校給食費や各種貸付金収入など、その他の収入です。

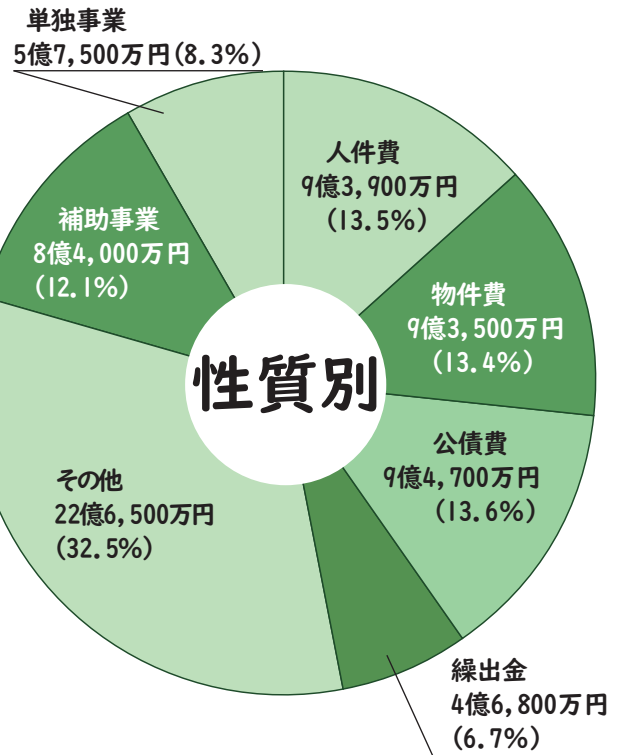
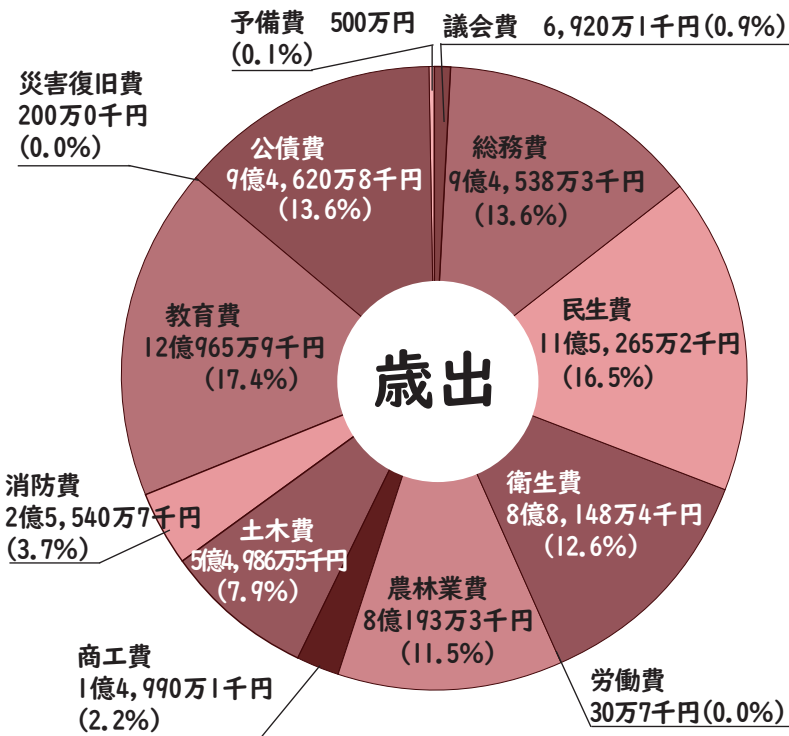
依存財源 とは

国や道などから定められて額を交付、割り当てられる財源です。

科 目	解 説
地 方 譲 与 税	手続き上国税として徴収される地方税（自動車重量税など）で、国が一定の基準に従って町に配分します。
利 子 割 交 付 金	金融機関などでの利子にかかる税で、道が徴収し、一定の基準に従って町に配分します。
配 当 割 交 付 金	一定の上場株式等の配当等にかかる税で、道が徴収し、一定の基準に従って町に配分します。
株 式 譲 渡 所 得 割 交 付 金	源泉徴収口座の株式等の譲渡所得にかかる税で、道が徴収し、一定の基準に従って町に配分します。
法 人 事 業 税 交 付 金	法人事業税の一部を、道が一定の基準に従って町に配分します。
地 方 消 費 税 交 付 金	消費税のうち22/78は各都道府県に配分され、その中から一定の基準に従って町に配分されます。
自 動 車 税 環 境 性 能 割 交 付 金	道で徴収した自動車税環境性能割から一定の基準に従って町に配分されます。
地 方 特 例 交 付 金	国の恒久的減税に伴う町税の減収の一部を補てんするために交付されます。
地 方 交 付 税	所得税、法人税、酒税、消費税、たばこ税の中から、国が一定の基準に従って町に交付します。
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	交通反則金から、国が一定の基準に従って町に交付します。
国 庫 支 出 金	町などが行う特定の事務事業に対して、国が交付する、補助金、交付金、委託金です。
道 支 出 金	町などが行う特定の事務事業に対して、道が交付する、補助金、交付金、委託金です。
町 債	町が事業をするために借入をする長期の借入金（地方債）です。

歳出

性質別



歳出

科目	令和6年度予算額	令和5年度予算額	増減額	増減率	歳出に占める割合
議会費	6,920万1千円	6,921万1千円	△1万0千円	0.0%	0.9%
総務費	9億4,538万3千円	12億597万4千円	△2億6,059万1千円	△21.6%	13.6%
民生費	11億5,265万2千円	11億1,957万7千円	3,307万5千円	3.0%	16.5%
衛生費	8億8,148万4千円	8億5,387万2千円	2,761万2千円	3.2%	12.6%
労働費	30万7千円	30万7千円	0千円	0.0%	0.0%
農林業費	8億193万3千円	7億1,374万2千円	8,819万1千円	12.4%	11.5%
商工費	1億4,990万1千円	1億7,433万3千円	△2,443万2千円	△14.0%	2.2%
土木費	5億4,986万5千円	4億9,895万5千円	5,091万0千円	10.2%	7.9%
消防費	2億5,540万7千円	2億4,840万8千円	699万9千円	2.8%	3.7%
教育費	12億965万9千円	7億2,876万0千円	4億8,089万9千円	66.0%	17.4%
災害復旧費	200万0千円	212万3千円	△12万3千円	△5.8%	0.0%
公債費	9億4,620万8千円	8億6,073万8千円	8,547万0千円	9.9%	13.6%
予備費	500万0千円	500万0千円	0千円	0.0%	0.1%
合計	69億6,900万0千円	64億8,100万0千円	4億8,800万0千円	7.5%	100.0%

性質別

科目	令和6年度予算額	令和5年度予算額	増減額	増減率	歳出に占める割合
人件費	9億3,900万0千円	9億6,100万0千円	△2,200万0千円	△2.3%	13.5%
物件費	9億3,500万0千円	10億9,400万0千円	△1億5,900万0千円	△14.5%	13.4%
公債費	9億4,700万0千円	8億6,100万0千円	8,600万0千円	10.0%	13.6%
繰出金	4億6,800万0千円	4億5,100万0千円	1,700万0千円	3.8%	6.7%
その他	22億6,500万0千円	22億2,300万0千円	4,200万0千円	1.9%	32.5%
補助事業	8億4,000万0千円	2億3,200万0千円	6億800万0千円	2.6%	12.1%
単独事業	5億7,500万0千円	6億5,900万0千円	△8,400万0千円	△12.7%	8.3%
合計	69億6,900万0千円	64億8,100万0千円	4億8,800万0千円	7.5%	100.0%

【用語解説】

歳出

科 目	解 説
議 会 費	議会の運営や議会報の発行などにかかる経費です。
総 務 費	財政、税務、公共交通、戸籍、選挙、まちづくりなど行財政全般にかかる経費です。
民 生 費	社会福祉、児童福祉、高齢者福祉、住民活動、交通安全などにかかる経費です。
衛 生 費	健康推進、地域医療、ごみ処理などにかかる経費です。
労 働 費	労働対策にかかる経費です。
農 林 業 費	農業、林業振興などにかかる経費です。
商 工 費	商工、観光、消費者行政などにかかる経費です。
土 木 費	道路、河川、町営住宅などにかかる経費です。
消 防 費	消防、防災対策などにかかる経費です。
教 育 費	小中学校、給食センター、図書館、社会教育、スポーツ・文化振興、スクールバス、津別高校支援などにかかる経費です。
災 害 復 旧 費	災害復旧工事などにかかる経費です。
公 債 費	借入金（地方債）の償還金です。
予 備 費	予算外の支出や予算超過の支出に充てるための経費です。

性質別

科 目	解 説
人 件 費	特別職と職員の給料や社会保険料のほか、議員や各種委員、会計年度任用職員などに報酬や給料として支払われる経費です。
物 件 費	謝礼、旅費、交際費、物品の取得代や修理代、郵便料、電話料、業務委託の委託料、ものを借りた場合の賃借料（リース代）や使用料、工事や修繕をするための材料購入費用などです。
公 債 費	借入金（地方債）の償還金です。
繰 出 金	特別会計等に支出する経費です。
扶 助 費	社会保障制度の一環として、生活困窮者、児童、高齢者、障がい者等に対して行う支援に要する経費です。
補 助 費 等	他の地方公共団体や民間団体等に対して、行政上の目的から交付される経費です。
補 助 事 業	町が国や道から補助を受けて行う事業です。
単 独 事 業	町が国や道からの補助が無い、独自の財源で行う事業です。

2 令和6年度の主な事業

住民企画課

- 財 政……予算の執行や決算、経理に関すること
- 税 務……町民税や固定資産税等の計算に関すること
- 収 納……税金等の徴収、納税証明書発行などに関すること
- 企 画……総合計画・総合戦略の推進、まちなか再生事業、広報・広聴、統計調査などに関すること
- 住民環境……自治会や町交通安全、ごみ処理やリサイクルの推進に関すること

継続
ふるさと納税を通じて地域の魅力を発信します
6,871万7千円

津別町に寄附をしていただいた方に、町の特産品などを返礼品としてお送りします。ふるさと納税を通じて町と特産品のPRを行い、地域活性化を目指します。今年度は、1億円の寄附額を目標に取り組んでいきます。

継続
人づくり・まちづくり支援事業を行います
330万5千円

※ふるさと納税を活用しています。

町の産業、福祉、スポーツなど各分野において、まちづくりのリーダー育成と団体の自主的なまちづくり活動を支援します。

継続
大学生と連携しまちづくりを進めます
246万8千円

※ふるさと納税を活用しています。

大学生の柔軟な発想をまちづくりに取り入れるとともに、町内の高校生との高大連携事業を通じた若い世代のまちづくりへの参画を促進します。

継続
まちなか再生事業の取り組みを進めます
5億1,442万6千円

津別町複合庁舎建設等まちなか再生基本計画におけるコミュニティゾーンについて、多世代が自由に利用でき、憩いの場として、買い物拠点や図書館、交通拠点等の整備に続き、市街地総合再生基本計画の推進を図ります。

継続
移住・定住の相談窓口を運営します
682万8千円

※ふるさと納税を活用しています。

移住・定住を希望する人に、暮らしの情報や、住まいの情報、仕事の情報などを提供します。また、空き家バンクを通じて、空き家の利活用を推進します。

継続
地域おこし協力隊事業を実施します
4,936万5千円

「地域おこし協力隊員」による地域協力活動を通じて、地域活性化や地域資源発掘など地域力の維持・強化につながる取り組みを行います。

継続
インターネットテレビ番組「タウンニュースつべつ」を配信します
396万円

※ふるさと納税を活用しています。

毎月、テレビ番組「タウンニュースつべつ」を制作し、観光やグルメ、企業紹介など津別町に関する情報を、インターネットを通じて全国に配信します。また、役場庁舎、さんさん館、津別病院、道の駅、小学校・中学校・高校でも視聴することができます。



継続
花のまち推進事業を行います
101万1千円

花のまち推進協議会を主体に、フラワーマスター連絡協議会など各団体と連携し、さらなる花のまちづくりを推進します。

継続
ごみ収集を行います
3,748万7千円

町内のごみ収集と、北見市の焼却処理施設への運搬を行います。

継続
ごみの焼却処理を行います
1,350万円

北見市の焼却施設で処理を行います。

継続
し尿収集と処理を行います
3,437万1千円

し尿収集を町内事業者へ委託し、処理を行います。

継続
生ごみの堆肥化処理を行います
994万4千円

津別町、大空町の生ごみを津別町堆肥製造施設で受け入れ、広域処理を行います。

継続
リサイクルの推進を行います
1,369万6千円

リサイクルセンターで、資源物の仕分け作業を行います。

継続
最終処分場の管理を行います
6,890万3千円

一般廃棄物最終処分場で埋め立て処理と施設管理を行います。



保健福祉課

戸籍・年金……戸籍謄本・印鑑登録証明書、住民票、マイナンバー等の交付や、年金事務に関すること

健康推進……子どもから成人の健康相談や健診に関すること

国保……国民健康保険と後期高齢者医療の健康保険事務に関すること

福祉……父子及び母子、寡婦、障がい者等の支援に関すること

介護保険……介護保険の認定、給付に関すること

高齢者支援……地域の高齢者への支援活動、介護相談に関すること

医療費助成を行います

継続

○重度心身障がい者医療費助成制度

1,264万6千円

重度の障がい（1・2級と3級の一部）を持つ方へ医療費の一部を助成します。

※保険診療分対象。課税および所得要件有。

○ひとり親家庭等医療費助成制度

203万4千円

ひとり親家庭（母子・父子家庭）の方へ医療費の一部を助成します。

※保険診療分対象。課税、所得、年齢要件有。

○子ども医療費助成制度

1,248万9千円

18歳の年度末までの子どもの医療費を全額助成します。

※保険診療分対象。入院時の食事療養費は除く。

簡易脳ドック・心血管ドック助成を行います

継続

85万円

40歳から74歳までの国民健康保険被保険者（令和4年度・令和5年度に受診した方は除きます）を対象に、脳および心臓の病気の予防、早期発見のために簡易脳ドック・心血管ドック助成事業を行います。

特定健診を行います

継続

943万4千円

30歳から74歳までの国民健康保険被保険者を対象に、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した、生活習慣病の予防のための健診を行います（後期高齢者の方にも、同様の健診が実施されます）。

各種検診を行います

継続

618万円

病気の予防・早期発見のために各種検診を行います。

○胃がん検診・肺がん検診・大腸がん検診

40歳以上の方

○前立腺がん検診

50歳以上の男性の方

○乳がん検診

40歳以上の女性の方（2年に1回）

○子宮頸がん検診

20歳以上の女性の方（2年に1回）

○エキノコックス症検診

小学校3年生以上の方（5年に1回）

○肝炎検診

40歳以上の方（今まで受けたことのない方）

○歯周病検診

20・30・40・50・60・70歳の方（後期高齢者の方にも別途実施されます）

継続

妊産婦さんの相談・健診等を行います

256万3千円

妊産婦さん向けの相談・健診・学習会を行います。

○母子手帳の交付

病院で母子手帳をもらうようお話がありましたら、保健師による面談を行い、母子手帳をお渡しします。

○妊産婦健診料助成

一般健診、超音波検査の健診料金を助成します。助成回数は最大で14回、超音波検査が6回、産婦健診が2回です。

○産後ケア事業

産後1年の間、医療機関や助産院の助産師による産後ケアサービスを最大9回受けることができます。産後の悩みや育児相談、授乳のアドバイスなどを受けることができます。

○プレママ・プレパパ学級

主に妊娠16～34週の妊婦の方とそのパートナーの方を対象に、出産や育児に向けた準備をするための学級を行います。

○相談

妊娠期に関する相談をお受けします（電話・役場での面談・訪問など）。

○出産応援ギフト

出産関連用品の購入等の負担軽減のため、妊娠時に5万円を支給します。

継続

新生児聴覚検査費用の助成を行います 7万5千円

出生後、入院中の赤ちゃんに行われる新生児聴覚検査の費用を全額助成します。

新規 NEW

不妊治療費の助成を行います

142万2千円

不妊治療を受けているご夫婦の経済的負担を軽減するために費用の助成を行います。

●顕微授精、体外受精、男性の不妊手術の費用

・健康保険が適応された方が対象です。
・健康保険、各種医療費減額制度利用後の自己負担額を全額助成します。

●先進医療の費用

・上記の対象の方が、同時に受ける先進医療が対象です。

・この治療費と交通費の一部を助成します。

継続

妊産婦通院交通費の助成を行います

36万5千円

妊産婦さんご家族の経済的負担を軽減し、安心して妊娠期を過ごし出産を迎えられるよう、妊産婦健診等に伴う交通費を助成します。妊産婦健診・出産のための通院に対して、片道につき715円を助成します。

継続

母子手帳アプリで地域の情報を配信します

26万4千円

妊娠から出産、育児をサポートする母子手帳アプリ「母子モ」にて、津別町で利用できる子育てサービスの情報や、月齢にあった各種教室などのご案内を行います。

継続

こどもの健診・育児 相談等を行います

200万4千円

こどもの健やかな成長のために各種健診・相談・学習会を行います。

○乳幼児健診

- ・乳児（3～4か月、9～10か月）健診（病院委託）
- ・1歳6か月児健診（集団健診）
- ・3歳児健診（集団健診）

○乳幼児相談会

2か月に1回実施します。生後2か月から就学前のお子さまを対象に栄養・歯・療育の事など育児全般の相談を各専門職に相談ができます。

○5歳児相談

発達の専門職による相談会です。

○相談

育児に関する相談をお受けします（電話・役場での面談・訪問など）。

○育児学級

主に1歳までのお子さまの保護者を対象に、こどもの身体と言葉の育ちや病気の時の対応など、子育てで大切なことについて学級を行います。

○離乳食教室

4～7か月、8～11か月のお子さまと保護者を対象に、離乳食初期～後期の学習や調理実習などを行います。

○子育て応援ギフト

育児関連用品の購入や、子育て支援サービスの利用負担軽減のため、出産時にお子さま1人につき5万円を支給します。

継続

こどもの歯の健康を 守ります

64万5千円

こどもの歯の健康のために、検診やフッ素塗布・洗口を行います。

○乳幼児健診、相談会での歯科検診・相談

- ・乳幼児相談会にて歯科衛生士による歯科相談を受けられます。
- ・1歳6か月児健診と3歳児健診では、歯科検診・相談とフッ素塗布があります。

○歯科検診・フッ素塗布

1歳～小学校入学前のお子様、歯科検診・フッ素塗布の料金の一部助成を行います。

○フッ化物洗口

こども園に入園している年中・年長クラスのお子様で、希望される方対象に、毎日フッ化物洗口を実施しています。

新規

地域医療を支える 施設整備費用を助成します

3,400万円

津別病院の更新時期を迎える医療機器整備費用を助成します。

継続

地域医療維持の 助成を行います

2億4,000万円

住民の健康を守る地域医療を維持確保するため、救急医療を含め津別病院に助成を行います。

継続

各種予防接種を行います

918万7千円

感染症予防のため各種予防接種を行います。

○大人

- ・インフルエンザ（65歳以上）
- ・成人用肺炎球菌（65歳）
- ・風しん

■昭和37年～53年度生まれの男性

■将来妊娠を希望する19～49歳の女性または現在妊娠している女性の夫

○子ども

- ・ヒブ ・小児用肺炎球菌 ・BCG
- ・2種混合 ・4種混合 ・5種混合
- ・おたふく ・麻しん風しん混合
- ・ロタウイルス ・子宮頸がん等予防
- ・日本脳炎 ・B型肝炎
- ・インフルエンザ（1歳～中学3年生）
- ・水痘（1歳から就学前）

継続

認知症高齢者を支援する事業を行います

527万4千円

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けるために、医療、介護等の関係機関が連携しながら支援する事業を行います（委託事業を含む）。

例）認知症高齢者の安否確認訪問、認知症初期集中支援チームによる訪問、認知症サポーター養成講座、ステップアップ講座の実施、認知症の人にやさしいお店登録事業の実施、認知症カフェの開催、認知症の人の家族の茶話会や出前講座、徘徊高齢者探索模擬訓練、SOSネットワーク事業など

継続

高齢者の権利を守る事業を行います

157万9千円

高齢者の尊厳を守り地域で安心して生活できるよう、専門的・継続的な視点から、高齢者の権利擁護のため必要な支援活動を行います。

例）成年後見制度の普及啓発や利用に関する支援、消費者被害防止、高齢者虐待防止に関する活動など

継続

高齢者の介護予防事業を行います

459万円

高齢者の運動機能の向上や認知症予防、閉じこもり予防を目的に、年齢ごとの家庭訪問や介護予防教室の開催、地域活動を支援します（委託事業を含む）。

例）いきいき百歳体操、ふれあい・いきいきサロン、生活支援サポートセンター事業、介護予防いきいきボランティアポイント事業、高齢者の状況把握訪問、高齢者向け運動教室、ミズナラ倶楽部（通所型介護予防教室）など

継続

高齢者の総合的な相談対応を行います

11万円

高齢者が地域で安心して生活できるよう、多様な相談内容に対応し、専門的・継続的な支援、並びに地域の関係職種との連携や必要となるネットワークの構築など行います。

例）健康相談や講話の依頼、介護保険や福祉制度の利用の相談、健康管理や医療の相談、施設入所や住み替えの相談など

児童手当を支給します **継続** 3,935万8千円

- ・ 3歳未満 … 月額1万5千円
- ・ 3歳以上小学校終了前（第1子・第2子） … 月額1万円
- ・ 3歳以上小学校終了前（第3子以降） … 月額1万5千円
- ・ 中学生（一律） … 月額1万円
- ・ 所得制限額以上の場合 … 月額5千円または0円。

例）夫婦・子ども2人世帯の場合、収入額が960万円以上1,200万円未満の場合は月額5千円、1,200万円以上の場合は支給されません（扶養親族類により収入額の上限が変わります）。

バス無料乗車券を交付します **継続** 634万5千円

バス無料乗車券の交付対象者は、次のとおりです。

○対象者

- ① 70歳以上の方（昭和29年4月1日以前に生まれた方）。
- ※本年中に、70歳になられた方も助成対象となります。
- ② 3級以上の身体障がい者手帳をお持ちの方（寝たきり等でバスの乗車が不可能な方は除きます）。
 - ③ 療育手帳をお持ちの方
 - ④ 精神保健福祉手帳をお持ちの方
 - ⑤ ②・③・④のうちひとりでバスに乗車できない方の介護者（②は第1種の方、③は18歳未満の方またはA判定の方、④は1級の方）

子ども・子育て支援事業を実施します **継続** 1億4,163万円

※ふるさと納税を活用しています。

- こども園の利用者負担の軽減、給食を無料で行います。
- 認定こども園「こどもの杜」へ運営費補助を行います。
- 一時預かり、延長保育、体調不良型保育、子育て支援センター事業をこども園に委託します。



障害者総合支援事業を行います **継続** 2億9,054万3千円

障がい者の社会参加の機会の確保および地域社会における共生の実現に向けて、障害福祉サービスの充実等障がい者の日常生活および社会生活を総合的に支援します。

産業振興課

林 政……林業の振興や町有林の保護・管理に関すること
商工観光……商工業や観光の振興、森の健康館に関すること
農 政……農業や畜産の振興、土地改良に関すること
耕 地……農業農村整備に関すること
再エネ推進…再生可能エネルギーの導入推進に関すること
農業委員会事務局…農地の権利移動の許可に関すること

道営土地改良事業を 行います 2億887万円

農地の区画整理整備を実施することによって生産基盤の強化を行い、地域農業の生産効率・安全性の向上を目指し事業を推進します。

農業水路等長寿命化・ 防災減災事業を行います 4,769万円

農業水路等を改修し、施設の長寿命化を図ります。

農地耕作条件改善 事業を行います 110万円

農地の生産性向上を図るため、農業用排水路を改修し基盤整備を行います。

多面的機能支払 交付金事業を行います 6,371万円

農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、地域で行う農地・水路・鹿柵・農道等の資源や環境の保全管理活動に対して支援を行います。

国営農地再編整備 事業を行います 4,367万円

農地の区画整理や排水対策等の生産基盤整備を広域的に行い、農産物等の生産拡大や農地の集積、農用地の効率的な利用を目指し事業を推進します。

有害鳥獣駆除を実施 します 473万3千円

猟友会津別支部やJAつべつと協力し、農作物の食害等を防止するため、エゾシカ、ハト・カラスの駆除を実施します。

町有林整備事業を 行います 5,418万2千円

施業計画に基づき、造林事業、保育事業、間伐事業など町有林の森林整備を行います。

愛林のまち緑資源を 守る推進事業を行います 1,068万1千円

※ふるさと納税を活用しています。

民有林振興対策として、造林事業や保育事業に丸玉木材森づくり基金を充当し事業を推進します。

継続

森林管理認証の 取得を支援します

15万円

町内の認証林から産出される認証材の利用拡大を図っていくために、生産・加工・流通工程の管理認証を取得または更新する事業者に対して助成を行います。

継続

観光PR事業を 実施します

197万2千円

道内外の各種観光フェアへの出展、旅行会社へのプロモーション活動、NPO法人津別観光協会へ広告宣伝業務を委託し、津別町の魅力を発信していきます。

継続

森林環境譲与税活用 事業を行います

3,692万2千円

国より交付される森林環境譲与税を活用し、新規に林業に従事される方や、林業の担い手確保に関する取り組みへの支援、林業の労働環境の改善に向けた安全装備品や、林業機械購入に対する助成、町内私有林の森林整備に対する支援を行います。

継続

起業等振興促進事業 を実施します

6,500万円

町内において新たに事業活動を行う方や現在事業を行っている方の施設・設備投資、増改修等を支援します。

継続

UIJターン新規 就業支援事業を実施します

100万円

東京圏から町内へ移住し、北海道が運営するマッチングサイトに登録されている企業に就業、または北海道が実施する起業支援事業により起業された方を支援します。

継続

地域特産品販路拡 大支援事業を実施します

90万円

町外への販路拡大のために見本市等に出展する町内企業を1企業あたり3回まで支援します。

継続

小規模事業者若者 雇用促進事業を実施します

194万円

町内において若年者の正規雇用に積極的に取り組む小規模事業者を支援します。

継続

消費生活相談業務を 実施します

49万円

悪質商法や商品・サービスなどの契約に関するトラブル、商品の品質や安全性など消費生活に関するさまざまなご相談に応じます。

温泉無料送迎バスを 運行します

継続

158万9千円

「ランプの宿 森つべつ」行きの無料送迎バスを運行します（津別市街地、活汲方面、相生・本岐方面）。

森の健康館の入浴料 を助成します

継続

339万6千円

令和6年度より入浴料等を改定します。助成額は次のとおりです。

●町民入浴優待券の利用で入浴料の一部を助成します（1人5枚つづり1シート）。

▶大人1回券…入浴料800円のところ

500円助成→300円で入浴可能

▶子ども1回券…入浴料400円のところ

300円助成→100円で入浴可能

●町民入浴優待回数券の購入料金の一部を助成します（1組13枚つづり）。

▶大人回数券…8,000円のところ

5,000円助成→3,000円で購入可能

▶子ども回数券…4,000円のところ

3,000円助成→1,000円で購入可能

森の健康館の合併 処理浄化槽機器改修工事を 行います

新規

1,178万1千円

浄化槽が老朽化しているため、改修工事を行います。

自然運動公園の百年 記念塔改修工事を行います

新規

2,431万円

百年記念塔の長寿命化のため、改修工事を行います。

エコツーリズム 推進事業を実施します

新規

701万3千円

エコツーリズム推進計画の策定を行い、持続可能な観光地域づくりに取り組みます。

21世紀の森キャン プ場の修景池四阿等撤去工 事を行います

新規

430万1千円

修景池東屋に架かる橋が老朽化により倒壊しているため、東屋と合わせて撤去工事を行います。

津別町木質バイオマ ス地域熱供給事業基本計画 を策定します

新規

1,048万3千円

特別養護老人ホームおよびデイサービスセンターの移転新築計画に伴い、移転後も木質バイオマスによる暖房・給湯利用を継続していただくため、移転先の周辺施設を含む複数施設へ、木質バイオマスボイラーによる熱供給を実施するための基本計画を策定します。

建設課

住 宅……公営住宅の管理、定住促進、空家対策に関すること

水 道……水道、下水道の工事・管理、料金に関すること

道路河川……町道、河川の工事・管理や町道の除排雪、まちバスの運行や町有
車両の管理に関すること

継続

共和第2団地の
屋根を塗装します

904万2千円

共和第2団地（国道側）の屋根を塗装します（2か年計画）。

継続

豊永団地の内部を
一部改修します

1,575万円

豊永団地の空室となっている住宅の内部を一部改修します。

継続

空家活用促進事業を
行います

100万円

空家の活用を促進するため、貸主または借主の住宅改修に費用の一部を補助します。

継続

町内に定住する方に
助成します

2,170万円

持ち家を新築する方、中古住宅を購入される方、住宅を改修される方に費用の一部を助成します（ふるさと定住促進事業）。

継続

豊永団地の外壁等を
改修します

554万4千円

豊永団地の外壁等の木部を改修します（4か年計画）。

継続

空家等撤去促進事業
を行います

750万円

良好な生活環境と美しい景観を創出することを目的に、空家や廃屋を自主的に撤去する方に費用の一部を助成します。

新規 **NEW**

上里浄水場に紫外線 滅菌装置を設置するための 実施設計を行います

988万円

上里浄水場の水の安全性をより高めるため、紫外線滅菌装置を設置するための実施設計を行います。

継続

個別排水処理浄化槽 を設置します

1,383万円

公共下水道の区域外の地域で、水洗トイレなどが使用できる個別排水浄化槽（合併浄化槽）を、3基設置します。

継続

下水道施設の改築・ 更新を行います

3億200万円

ストックマネジメント計画に基づき、下水道管理センターの機械・電気計装設備更新工事、建築改修工事を行います。また自家発電機の更新工事を行います。

継続

高台配水場の 外構工事を行います

8,595万8千円

高台低区配水池の更新を終えたことから、廃止となった配水池の撤去および外構工事を行います。

継続

未給水地区の飲み水 の安全確保を図ります

375万8千円

水道未給水地区の飲み水の安全性や量の確保を図るため、水質検査費用、井戸の堀削、浄水器の購入設置費用などに対して助成を行います。



継続

橋の補修を行います

3,545万3千円

橋梁の長寿命化を図るため、橋の補修工事を計画的に進めています。今年度は美園橋、小沼沢橋の補修を行います。

継続

歩道の補修工事を 行います 2,285万8千円

歩道の補修工事を計画的に進めていきます。今年度は4路線の補修を行います。

L-620m（場所は18ページに掲載）

継続

大型免許等運転免許 取得費の一部を助成します

60万円

津別の事業所で働く方が大型免許等を取得する際の費用の一部を事業所に助成します。



新規

道路の改良工事を行います 7,256万7千円

下記の舗装化されていない道路を改良して舗装化します。(場所は18ページに掲載)

- 町道132号線 延長=33.25m
- 町道190号線 延長=149.64m
- 町道76号線 延長=130m
- 町道8号線 延長=30m(歩道新設)

継続

タクシー利用助成券 交付事業を実施します 325万8千円

75歳以上の町民の方で、一定条件を満たした方にタクシー利用助成券を交付します。



新規

河川の^{しゅんせつ}浚渫工事を行います

1,122万円

河川に堆積した土砂の撤去を行います。
ポンキキン川 延長=1,900m

継続

スクールバスを 運行します 3,629万2千円

小・中学校の生徒、認定こども園の園児の通学・通園のため、混乗スクールバスを運行します。



継続

道路の補修工事を行います

6,845万8千円

下記道路の舗装工事や補修工事を行います(場所は18~19ページに掲載)。

○町道350号線舗装補修工事
延長=600.0m

○町道7号線舗装補修工事
延長=50m

○町道250号線側溝改修工事
延長=48m

○町道350号線側溝改修工事
延長=130m

○活汲橋ほか4橋橋梁維持補修工事
活汲橋、豊水橋、活栄橋、散歩橋、
369号線1号橋

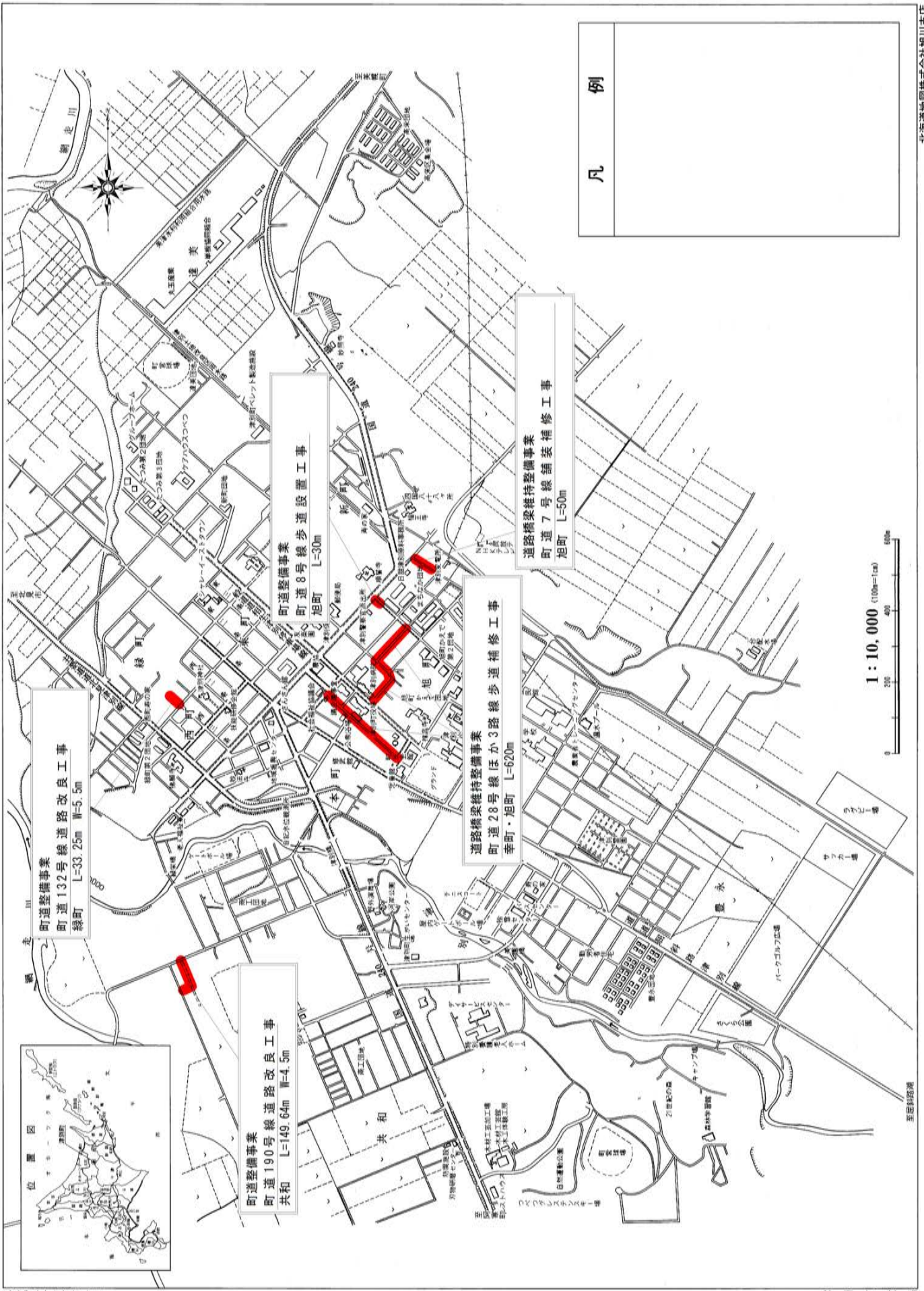
継続

花バス市街地巡回 線を運行します 272万1千円

買い物や通院など皆さんの日常生活に必要な交通手段として、花バス市街地巡回線を運行します。

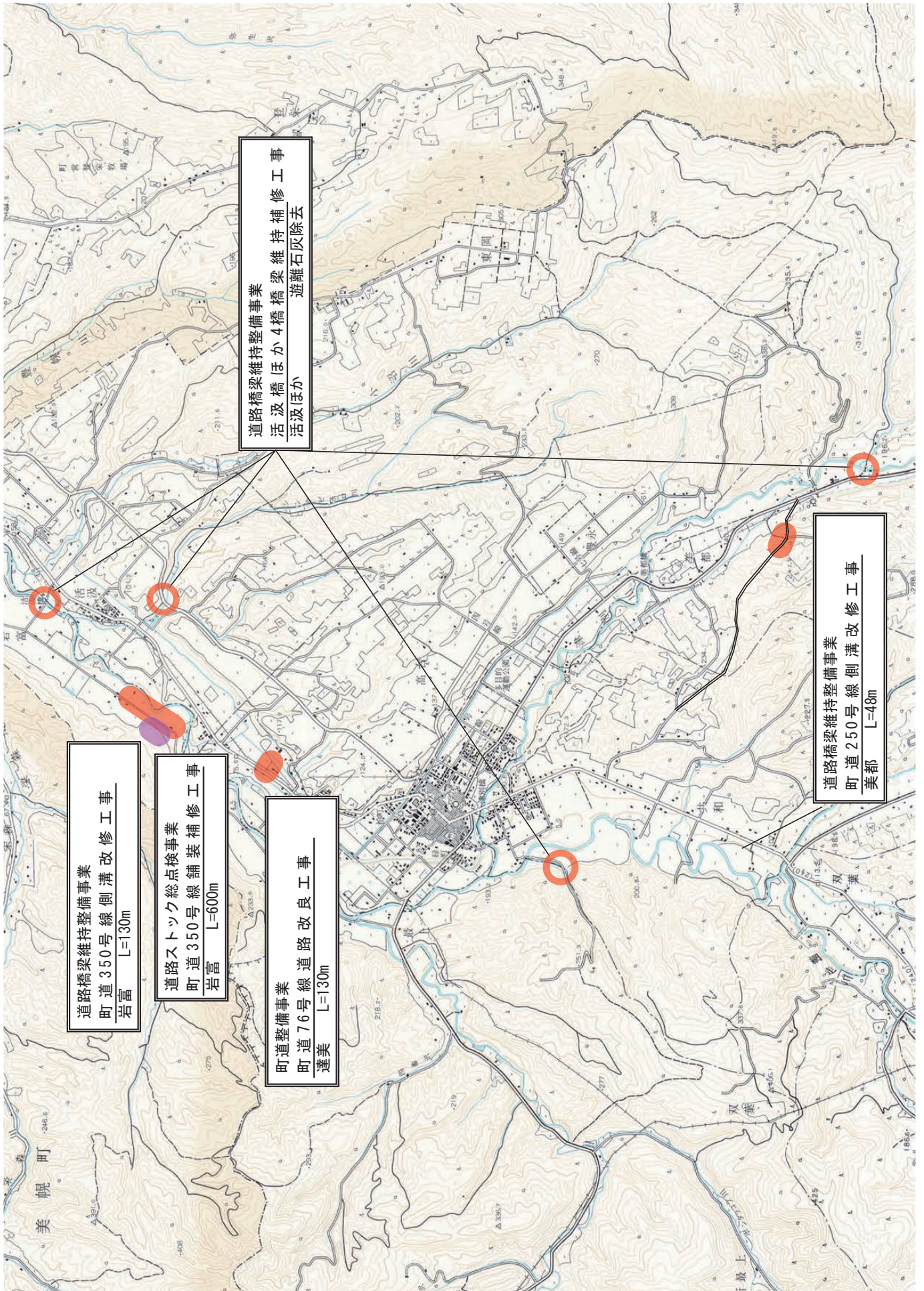


津別町市街図



平成二十五年二月

津別町役場



道路橋梁維持整備事業
町道350号線側溝改修工事
岩富 L=130m

道路ストック総点検事業
町道350号線舗装補修工事
岩富 L=600m

町道整備事業
町道76号線道路改良工事
達美 L=130m

道路橋梁維持整備事業
活汲橋ほか4橋橋梁維持補修工事
活汲橋ほか 遊離石灰除去

道路橋梁維持整備事業
町道250号線側溝改修工事
美都 L=48m

生涯学習課

学校教育……学校の管理や児童・生徒の就学に関すること

学校給食……給食センターの管理、運営に関すること

社会教育……生涯学習や児童館・図書館・中央公民館の管理、運営に関すること。スポーツ合宿や体育施設の管理、運営に関すること

継続

**二水郷中学生交流
事業（受入年・訪問年）を
行います 370万円**

今年は、台湾二水郷から二水国民中学校の生徒が来町し、津別町からも津別中学校の生徒が台湾二水郷を訪問する年となります。

国際交流を通じて異文化に触れ、国際的な感覚と視野を身につけることにより、人間豊かな人材の育成を目指します。

継続

**小中学校の指定教材
を更新します
188万9千円**

小学校および中学校の授業に使う教材を新しいものに更新し、児童生徒たちの教育効果を高め、学校教育を充実させます。

今年は、小学校の体育用マット、中学校の体育用マット、跳び箱などを更新します。

継続

**ふるさと教育として
上空飛行体験を実施します
78万円**

ふるさと教育の一環として、航空機をチャーターして、津別上空の飛行体験および空港見学・お仕事講座を行います。

（対象：津別中学校2年生）

継続

**中学校への臨時教職
員および小・中学校への学習
補助員の配置を継続します
2,180万9千円**

小学校および中学校において、個々に応じた学習支援を充実するため、臨時職員および学習補助員を配置します。

継続

**「愛林のまち」
ならではの木育授業を
実施します
95万7千円**

小学3年生・5年生、中学1年生を対象に、愛林のまち津別町ならではの木に触れあう木育授業を実施します。

継続

**津別高校の存続を
支援します
4,136万8千円**

津別高校を地域に存続させるため、国立大学入学一時金、バス通学費、校納金、教科書代、制服費の補助や生徒の海外研修派遣事業や公設塾開設などを振興対策として継続実施しています。

新規 **NEW**

給食センター 建て替え工事を行います 4億3,737万8千円

老朽化している津別町学校給食センターの建て替え工事を行います。

令和6年度・7年度の2か年で実施します。

継続

船橋市・南アルプス市 青少年交流事業を行います 370万円

今年度は、船橋市と南アルプス市へ訪問します。

両市の子どもたちとの交流を通じて、価値観を広げ、友情や絆を深めるなど心豊かな人間形成を築きます。

継続

小中学校児童生徒の 学校給食費を減額または 免除します 312万7千円

保護者の経済的負担の軽減のために、学校給食費を減額または免除します。

継続

放課後児童クラブ 事業を行います 6万3千円

保護者が就労等により、昼間家庭にいない小学生を対象に、遊びや生活の場を提供し、活動を通して健全育成を図ります。

継続

津別オリジナルの 給食を提供します 93万1千円

オール津別給食 30万円

オーガニック牛乳 63万1千円

学校給食において、津別産食材のみを用いたオール津別給食を年3回提供します。

また、毎週水曜日は、小中学校にオーガニック牛乳を提供します。

※津別高校へは牛乳が提供されていません。

継続

放課後子ども教室 事業を行います 268万1千円

すべての子どもを対象に、安全・安心な子どもの居場所を設け、地域の方々の協力を得て学習、スポーツ、文化活動、交流の機会を提供し、健全育成を図ります。

継続

青年活動プロジェクト and 事業を支援します 25万円

町内在住・勤務する青年による活動を支援します。業種にとらわれず、新しい仲間と出会い、教養を深め、交流の横のつながりを築きながらさまざまな活動を行います。



日本フィルセミナー 事業を行います

継続

320万円

全国から集まったアマチュア奏者に対し、日本フィルハーモニー交響楽団の団員がセミナーを実施します。最終日には、アマ・プロ全員でコンサートを行い、生のクラシック音楽を提供します。



つべつ紅葉マラソン 大会を行います

継続

100万円

マラソンを通じて参加者同士の友好の絆を深め、健康増進と体力向上を図ります。
ローカルでアットホームな大会で津別町を盛り上げます。



リコーダーセミナー・ コンサート事業を行います

継続

30万円

全国から集まったリコーダー愛好家や近隣の小中学校の学生に対し、セミナーを実施します。

最終日にはコンサートを行います。

オリンピック事業を 行います

継続

88万円

スポーツの楽しさと魅力を伝え、年齢や体力にとらわれず誰もが目的に応じてスポーツに親しむ機会として、アスリートによる各種スポーツ体験教室と講演会を実施します。

今年は子ども向けにかけっこ教室とバスケットボール教室、町民向けに同講師による講演会を行います。

アソビバ! つべつ 事業(自然体験・郷土学習等) を行います

継続

77万9千円

町内の小中学生を対象に、津別町の豊富なフィールドを活用した体験学習を通して、郷土愛の育成を図り、子どもたちの自主性や協調性を育むさまざまな事業を行います。

健康づくり教室事業 を行います

継続

30万円

町民が健康で生き生きとした生活が営めるよう、運動教室を実施します。

体力・健康づくり、運動の習慣化を図るため、定期的を開催してさまざまなトレーニングを展開します。

継続
青少年芸術鑑賞事業
(小中学生対象・幼児一般)
を行います 128万円

小中学校や児童館での芸術鑑賞を行い、児童生徒の豊かな想像力や思考力、芸術性を養います。

新規
図書館まつりを
行います

20万円

図書館の活動を広く町民のみなさんにご紹介し、気軽に来館していただけるきっかけとなるよう、子どもから大人まで楽しめる事業を行います。

新規
さくら公園の木製
歩道橋改修工事を行います
1,336万5千円

さくら公園から21世紀の森キャンプ場へと繋がる木製歩道橋の床板が損傷したため、木製歩道橋の床板改修工事を行います。

新規
農業者トレーニング
センターのアリーナパネル
ヒーター交換修繕を
行います 761万2千円

施設開設から40年経過し、アリーナのパネルヒーターの老朽化に伴い交換修繕を行います。

新規
多目的運動公園用芝
刈り機の更新を
行います 583万円

多目的運動公園で使用している芝刈り機が、運用を開始してから24年経過し故障したことから、機器の更新を行います。

新規
運動広場の三相変圧
器交換修繕を
行います 438万4千円

受電設備の変圧器が製造から25年経過しており更新時期を迎えたことから、三相変圧器の交換修繕を行います。

新規
農業者トレーニング
センターのアリーナ床改修
工事を行います
1億30万9千円

施設開設から40年経過し、アリーナの床のたわみ・軋みが生じているためアリーナ床張り替え改修工事を行います。

新規
農業者トレーニング
センターのアリーナ照明
LED化工事
を行います 1,146万2千円

施設の長寿命化を図るため、アリーナ照明のLED化工事を行います。

3 令和5年度出前講座一覧

住民企画課住民環境係

開催年月日	講座名	内容	対象者	会場
令和5年 4月27日	交通安全教室	歩行時、自転車利用時における交通安全指導	津別小学校児童	津別小学校

住民企画課税務収納係

開催年月日	講座名	内容	対象者	会場	参加人数
令和5年 11月27日	租税教室	税金について考えてみよう	津別小学校 6年生	津別小学校	17人

産業振興課再エネ推進係

開催年月日	講座名	内容	対象者	会場	参加人数
令和5年 9月27日	中学1年 総合学習	総合的な学習の時間 「津別町地域資源の再認識」 の学習を深める	津別中学校 第1学年	木質バイオマスセ ンター、西町団地、 木質ペレット製造 施設	39人

産業振興課商工観光係

開催年月日	講座名	内容	対象者	会場
令和5年 12月13日	消費生活講話	「働くときの基礎知識 ～社会に出る君たちへ～」	津別高校 3年生	津別高校

防災危機管理室

開催年月日	講座名	内容	対象者	会場	参加人数
令和5年 8月8日	高台町 ほのぼのサロン	防災に関する講話、防災備品 の組み立て・使用体験	高台町 ほのぼのサロン	高栄集会所	8人
令和5年 8月27日	共和第4自治会 防災教室	防災に関する講話、防災備品 の組み立て・使用体験	共和第4自治会	生きがいセンター	20人
令和5年 10月20日	令和5年度 「1日防災学校」	防災に関する講話、防災備品 の組み立て・使用体験、避難 所運営ゲームHUG	津別高校 1・3年生	津別高校	30人
令和6年 1月21日	豊永第3自治会 防災体験研修会	防災に関する講話、防災備品の 組み立て・使用体験、炊出し	豊永第3自治会	豊永寿の家	29人
令和6年 2月7日	社会科 「自然災害に対す る備え」出前授業	防災に関する講話、防災備品 の組み立て・使用体験	津別小学校 4年生	津別小学校	30人

津別消防

開催年月日	講座名	内容	対象者	会場	参加人数
令和5年 4月21日	普通救命講習	心肺蘇生法、大出血時の止血 法等	国安産業株式会社	中央公民館	29人
令和5年 8月7日	救急教室	心肺蘇生法、AEDの取り扱い	カルビーポテト 株式会社津別支署	カルビーポテト 株式会社倉庫内	5人
令和5年 9月22日	救急教室	予防救急について	ケアハウス	ケアハウス	30人
令和5年 10月19日	救急教室	心肺蘇生法、AEDの取り扱い、 消火器の取り扱い	津別町 社会福祉協議会	消防署	6人
令和5年 10月20日	救急教室	心肺蘇生法、止血法、包帯法、 固定法、体位管理法	津別高校 生徒	津別高校	15人
令和5年 11月10日	普通救命講習	心肺蘇生法、大出血時の止血 法等	津別町デイ サービスセンター	消防署	16人
令和6年 3月5日	救急教室	心肺蘇生法、AEDの取り扱い	津別観光協会	さんさん館	6人

保健福祉課健康推進係

開催年月日	講座名	内容	対象者	会場	参加人数
令和5年 6月7日	健康講話	健康について（健診の大切さ、健康のために大切なこと）	高台町サロン	高栄集会所	8人
令和5年 8月7日	健康講話、会食を通じた交流	高齢者の食と健康について、夏野菜の試食	東達美サロン	東達美 農業研修センター	15人
令和5年 8月8日	健康講話	こころの健康について	活汲老人クラブ	活汲寿の家	27人
令和5年 9月1日	健康講話	70代以降の筋肉講座	活汲老人クラブ	活汲寿の家	30人
令和5年 11月1日	健康講話	血圧について	活汲老人クラブ	活汲寿の家	28人
令和6年 2月6日	健康講話、調理実習、会食を通じた交流	血圧について	高台ほのぼの サロン	高栄集会所	9人
令和6年 3月8日	寿大学 （健康講話）	津別町の健康状態と血圧について	寿大学の参加者	公民館	35人
令和6年 3月18日	健康講話、会食を通じた交流	血圧について	東達美サロン	東達美 農業研修センター	11人

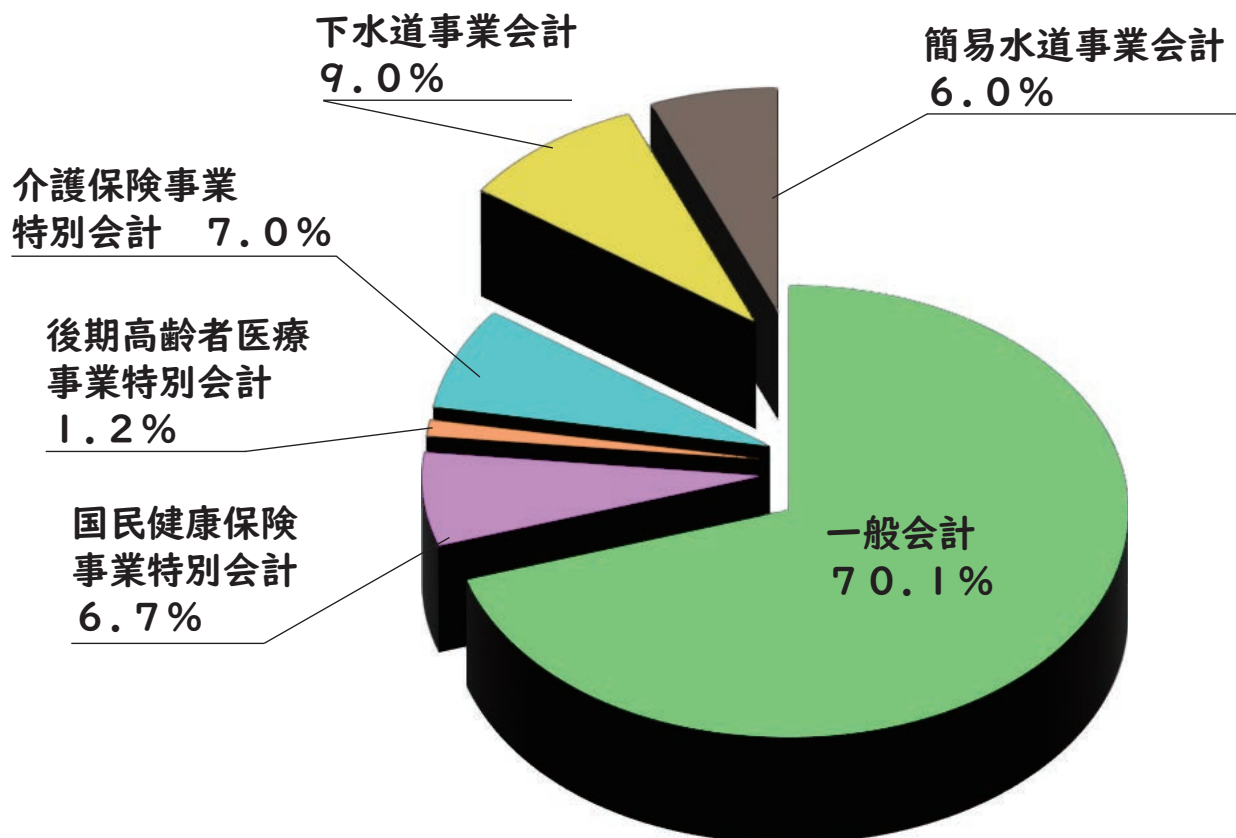
保健福祉課高齢者相談係

開催年月日	講座名	内容	対象者	会場	参加人数
令和5年 6月2日	出前講座 「いきいき百歳体操」体験会	いきいき百歳体操の実技	旭町第1自治会 女性部	旭昇園	10人
令和5年 6月5日	健康講話 「血圧と仲良く付き合う」	血圧のしくみを知り 上手に自己管理する	豊永老人クラブ	豊美寿の家	16人
令和5年 6月14日	出前講座 「いきいき百歳体操」体験会	いきいき百歳体操の実技	共和老人クラブ	共和いきがい センター	20人
令和5年 6月19日	健康講話 「人生100歳時代の思いやり」	笑顔の大切さと効果のお話	東達美サロン	東達美集会所	15人
令和5年 8月29日	認知症サポーター 養成講座	日本の高齢化と認知症の繋がり、認知症を理解し支えよう	津別中学校 1年生、教員	津別中学校	37人
令和5年 9月12日	出前講座 「いきいき百歳体操」体験会	いきいき百歳体操の実技	新栄老人クラブ	共和生きがい センター	14人
令和5年 9月14日	健康講話 「認知症を知り 予防しよう」	認知症に関する時事問題、 基本的な疾患の知識、 予防策について	旭町第1自治会 女性部	旭昇園	7人
令和5年 10月27日	健康講話 「認知症を知り 予防しよう」	認知症に関する時事問題、 基本的な疾患の知識、 予防策について	新町自治会	さんさん館	19人
令和5年 11月11日	健康講話 「認知症を知り 予防しよう」	認知症に関する時事問題、 基本的な疾患の知識、 予防策について	幸町婦人部	町民会館 調理研修室	8人
令和5年 11月29日	津別中学校 福祉プログラム	バリアフリーを体験しよう～ 津別の建物見学体験ツアー～	津別中学校 2年生、教員	津別中学校	33人
令和6年 2月8日	認知症サポーター 養成講座	認知症に関する基本的な 疾患の知識、関わり方、 予防策について	民生委員 児童委員	津別役場 健診ホール	18人

4 資料

各会計別の当初予算総括表

会計区分		令和6年度予算額	令和5年度予算額	増減額	増減率
一般会計		69億6,900万円	64億8,100万円	4億8,800万円	7.5%
特別会計	国民健康保険事業	6億4,450万円	6億2,200万円	2,250万円	3.6%
	後期高齢者医療事業	1億720万円	1億870万円	△150万円	△1.4%
	介護保険事業	6億6,040万円	6億4,450万円	1,590万円	2.5%
企業会計	簡易水道事業	3億4,590万円	5億5,450万円	△2億8,600万円	△37.6%
	下水道事業	9億1,940万円	8億3,010万円	8,930万円	10.8%
計		96億4,640万円	92億4,080万円	4億560万円	4.4%



各種団体等に対する補助金・交付金

津別町から支出が予定されている各種団体や個人への補助金交付金は、令和6年度については6億8,385万9千円となっております。

補助金・交付金の主な内訳は、次のとおりになります。

【まちづくり】

団体名・事業名		令和6年度	令和5年度	前年度比較
東京つべつ会運営費		24万0千円	24万0千円	0千円
人づくり・まちづくり活動支援事業		320万0千円	320万0千円	0千円
地域おこし協力隊起業支援		400万0千円	100万0千円	300万0千円
地域おこし協力隊住環境整備事業		100万0千円	0千円	100万0千円
空家等撤去促進事業		750万0千円	750万0千円	0千円
空家活用促進事業		100万0千円	150万0千円	△50万0千円
奨学金返還支援事業		266万0千円	281万0千円	△15万0千円
町民入浴優待		339万6千円	281万7千円	57万9千円
ふるさと定住促進事業		2,170万0千円	2,090万0千円	80万0千円
まちづくりセンター運営協議会		120万0千円	120万0千円	0千円
タクシー利用助成		325万8千円	272万8千円	53万0千円
不在者投票事務取扱交付金（町長選挙）		4万3千円	0千円	4万3千円
街並づくり推進会議		0千円	4万0千円	△4万0千円
花のまち推進事業		60万0千円	60万0千円	0千円
自治会連合会		92万7千円	92万7千円	0千円
各自治会	（運営費）	405万3千円	414万6千円	△9万3千円
	（集会施設維持管理費）	204万3千円	204万3千円	0千円
津別町暴力追放推進協議会		3万3千円	3万3千円	0千円
津別町防犯協会		58万0千円	58万0千円	0千円
津別町交通安全協会		15万0千円	15万0千円	0千円
津別町スポーツ合宿実行委員会		300万0千円	300万0千円	0千円

【商工労働環境】

団体名・事業名		令和6年度	令和5年度	前年度比較
つべつふるさとまつり実行委員会		70万0千円	80万0千円	△10万0千円
地域特産品販路拡大支援事業		90万0千円	120万0千円	△30万0千円
津別町商工会（運営費）		952万6千円	952万6千円	0千円
起業等振興促進補助		6,500万0千円	2,883万2千円	3,616万8千円
中小企業特融利子補給		193万6千円	202万7千円	△9万1千円
小規模事業者若者促進事業		194万0千円	144万0千円	50万0千円
大型車両等運転免許取得費用助成事業		60万0千円	120万0千円	△60万0千円
新型コロナウイルス対策融資利子補給		5万3千円	7万3千円	△2万0千円
新型コロナウイルス対策雇用継続助成金給付事業		0千円	149万0千円	△149万0千円
北海道UIJターン新規就農・移住支援事業		100万0千円	100万0千円	0千円
つべつ夏まつり実行委員会		0千円	770万2千円	△770万2千円
津別観光協会	運営費	1,434万4千円	1,460万5千円	△26万1千円
	事業費	720万0千円	120万0千円	600万0千円

【農業】

団体名・事業名	令和6年度	令和5年度	前年度比較
農業経営基盤強化資金利子補給	7万3千円	8万9千円	△1万6千円
農業新規参入者対策事業	17万2千円	38万3千円	△21万1千円
産業まつり実行委員会運営費	45万0千円	45万0千円	0千円
農業生産法人経営推進事業	1,267万8千円	1,395万6千円	△127万8千円
有害鳥獣駆除事業	473万0千円	485万0千円	△12万0千円
環境保全型農業直接支払交付金事業	114万1千円	114万1千円	0千円
経営所得安定対策直接支払推進事業	50万0千円	50万0千円	0千円
農業次世代人材投資事業	150万0千円	150万0千円	0千円
小規模土地改良事業	100万0千円	150万0千円	△50万0千円
農業経営高度化支援事業	0千円	6,540万0千円	△6,540万0千円
国営農地再編整備事業推進事業	201万0千円	196万4千円	4万6千円
多面的機能支払交付金	6,350万0千円	6,350万0千円	0千円
大家畜経営活性化資金利子補給	9千円	1万3千円	△4千円
大家畜特別支援資金利子補給	1万0千円	1万0千円	0千円
畜産経営維持緊急支援資金利子補給	9万1千円	12万8千円	△3万7千円
家畜自衛防疫対策事業	20万0千円	20万0千円	0千円
酪農ヘルパー事業	40万0千円	40万0千円	0千円

【林業】

団体名・事業名	令和6年度	令和5年度	前年度比較	
愛林のまち緑資源を守る推進事業	1,068万1千円	810万5千円	257万6千円	
津別地区林業協同組合	林協運営費	165万0千円	165万0千円	0千円
	林協利子補給	376万2千円	378万4千円	△2万2千円
北海道猟友会津別支部	29万9千円	28万4千円	1万5千円	
森林管理認証取得支援事業	15万0千円	15万0千円	0千円	
木質ペレットストーブ導入支援事業	50万0千円	50万0千円	0千円	
太陽光発電システム支援事業	24万0千円	24万0千円	0千円	
地域森林バイオマス利活用推進事業	173万2千円	173万2千円	0千円	
木質ペレット製造販売持続化支援事業	196万1千円	0千円	196万1千円	
林業従事者就業支援事業	458万0千円	372万0千円	86万0千円	
林業労働安全衛生推進事業	349万6千円	340万8千円	8万8千円	
愛林のまち私有林整備事業	2,239万8千円	205万8千円	2,034万0千円	
豊かな森づくり推進事業	1,085万4千円	951万8千円	133万6千円	

【環境】

団体名・事業名	令和6年度	令和5年度	前年度比較
津別町環境衛生推進協議会	20万0千円	20万0千円	0千円
一般家庭飲用水水質検査事業	15万8千円	15万8千円	0千円
水道未給水地区整備事業	360万0千円	360万0千円	0千円

【保健福祉】

団体名・事業名		令和6年度	令和5年度	前年度比較
移送サービス事業		89万2千円	99万1千円	△9万9千円
成年後見制度利用支援事業		24万0千円	24万0千円	0千円
津別町民生委員児童委員協議会		196万7千円	225万6千円	△28万9千円
津別町ひまわりの会		3万0千円	3万0千円	0千円
津別町社会福祉協議会		2,493万0千円	2,433万4千円	59万6千円
津別町老人クラブ連合会・単位老人クラブ		63万8千円	66万2千円	△2万4千円
津別町人材活用センター		348万3千円	332万2千円	16万1千円
介護保険施設従事者就業支援等事業		204万0千円	136万0千円	68万0千円
津別福祉会		1,589万5千円	0千円	1,589万5千円
認定こども園	給食費	371万9千円	371万8千円	1千円
	運営費	1,775万9千円	1,455万2千円	320万7千円
丸玉木材(株)津別病院	(地域医療維持)	2億7,200万0千円	2億3,800万0千円	3,400万0千円
	(救急医療分)	200万0千円	200万0千円	0千円

【教育】

団体名・事業名		令和6年度	令和5年度	前年度比較
バス通学費補助		0千円	671万6千円	△671万6千円
校納金		0千円	40万0千円	△40万0千円
教科書等		0千円	105万8千円	△105万8千円
制服購入		0千円	108万3千円	△108万3千円
就学支援		1,079万6千円	0千円	1,079万6千円
津別高等学校振興対策協議会		350万0千円	350万0千円	0千円
交通安全用ヘルメット	小学校分	2万5千円	2万5千円	0千円
	中学校分	6万3千円	1万3千円	5万0千円
遠距離通学費	小学校分	7万0千円	7万0千円	0千円
	中学校分	4万0千円	6万0千円	△2万0千円
特別支援教育就学奨励補助	小学校分	63万1千円	70万7千円	△7万6千円
	中学校分	98万9千円	89万0千円	9万9千円
連合PTA		20万0千円	20万0千円	0千円
ちびっこクラブ		6万0千円	6万0千円	0千円
津別町文化協会		70万0千円	70万0千円	0千円
津別町郷土芸能山鳴太鼓保存会		9万0千円	9万0千円	0千円
温水プール利用助成事業		5千円	5千円	0千円
津別町文化・スポーツ競技大会派遣事業		40万0千円	40万0千円	0千円
津別町体育協会		180万0千円	180万0千円	0千円
総合型地域スポーツクラブ事業費		39万0千円	39万0千円	0千円

【合計】

団体名・事業名	令和6年度	令和5年度	前年度比較
全合計 (まちづくり、商工労働環境、農業、林業、環境、保健福祉、教育)	6億8,385万9千円	6億3,123万2千円	5,262万7千円

各種施設等の維持管理経費

町内の施設数は70を超え、人件費などの運営費を除く維持管理に要する経費として年間約13億5,317万7千円が支出されています。

また、施設の利用の際に納める使用料やごみ収集などのサービスを受ける際に納める手数料を、維持管理経費に充てています。

	施設名	令和6年度	使用料・手数料から充てられる金額
		令和5年度	前年度比較
行政	役場庁舎・公用車車庫・旧議会議事堂	3,895万8千円	
		4,883万3千円	△987万5千円
	町有建物	537万7千円	
		773万6千円	△235万9千円
	バス保管車庫（豊永）	121万0千円	
		834万8千円	△713万8千円
公共交通（まちバス）※人件費含む	3,992万3千円	22万0千円	
	4,069万7千円	△77万4千円	
公用車	854万8千円		
	461万0千円	393万8千円	
地域・自治会	共和集会施設（生きがいセンター）	79万9千円	
		91万2千円	△11万3千円
	集会施設（27施設）	289万0千円	
		319万3千円	△30万3千円
	老人クラブ施設（10施設）	338万6千円	
		416万8千円	△78万2千円
	地域振興センター（商工会館）	96万4千円	6千円
		96万6千円	△2千円
児童遊園地（9カ所）	58万8千円		
	240万4千円	△181万6千円	
相生アートコミュニティ施設	86万9千円		
	96万5千円	△9万6千円	
大通地区コミュニティ施設	1,543万2千円		
	1,557万1千円	△13万9千円	
保健福祉	福祉寮 ※人件費・運営費含む	2,266万4千円	235万7千円
		1,903万1千円	363万3千円
福祉バス	196万6千円		
	209万5千円	△12万9千円	
環境衛生	共同墓地（9カ所）	104万5千円	32万4千円
		105万0千円	△5千円
	公衆浴場	1,481万9千円	248万9千円
		1,265万0千円	216万9千円
	一般廃棄物最終処分場	6,890万3千円	342万6千円
		6,779万3千円	111万0千円
	リサイクルセンター	1,369万6千円	
		1,792万8千円	△423万2千円
	し尿処理施設	2,112万7千円	
		1,821万3千円	291万4千円
下水処理場（管渠管理含む）	1億3,711万2千円	5,678万4千円	
	1億4,475万0千円	△763万8千円	
個別排水管理	2,657万6千円	1,060万0千円	
	2,652万8千円	4万8千円	
簡易水道施設（5カ所）※（人件費含む）	1億8,117万9千円	1億2,720万5千円	
	1億8,021万1千円	96万8千円	

	施設名	令和6年度	使用料・手数料から充てられる金額
		令和5年度	前年度比較
道 路 ・ 河 川	道路維持管理(道路照明灯、防犯灯を含む)	2億3,650万9千円	116万4千円
		2億7,837万3千円	△4,186万4千円
	道路除排雪	400万0千円	
		400万0千円	
	建設機械管理	1,656万3千円	
		2,129万5千円	△473万2千円
	道路維持作業車	253万6千円	
		1,803万4千円	△1,549万8千円
	除雪センター(豊永・緑町)	61万7千円	
		94万4千円	△32万7千円
	林道	271万5千円	
		547万8千円	△276万3千円
交通安全施設	14万4千円		
	16万8千円	△2万4千円	
河川維持管理	1,574万1千円	2万3千円	
	326万2千円	1,247万9千円	
住 宅	町営住宅、特賃住宅	5,279万0千円	1,262万3千円
		4,174万5千円	1,104万5千円
農 業	町営牧場(達美、相生)	1,012万9千円	
		577万7千円	435万2千円
農 業	用水路	463万7千円	221万3千円
		588万2千円	△124万5千円
観 光 ・ 公 園	森の健康館(ランプの宿森つべつ)	5万7千円	
		6万0千円	△3千円
	津別峠展望施設	4,147万6千円	
		3,697万1千円	450万5千円
	道の駅「あいおい」・鉄道公園	567万2千円	34万4千円
		447万0千円	120万2千円
	木材工芸館・体験工房	1,103万1千円	
		1,346万8千円	△243万7千円
	レストハウス	1,418万2千円	36万0千円
		1,482万0千円	△63万8千円
	河岸公園	39万8千円	
		21万7千円	18万1千円
	自然運動公園	468万0千円	
		583万0千円	△115万0千円
	上里森林公園	603万8千円	
		598万1千円	5万7千円
	農村公園	104万0千円	
		102万6千円	1万4千円
	町民の森自然公園	36万0千円	
		46万3千円	△10万3千円
チミケップキャンプ場	554万9千円		
	531万8千円	23万1千円	
21世紀の森・キャンプ場	151万8千円		
	123万1千円	28万7千円	
多目的活動センター(さんさん館)	830万5千円		
	796万0千円	34万5千円	
体験交流施設	1,006万3千円	18万3千円	
	983万1千円	23万2千円	
ネイチャーセンター	86万7千円		
	105万2千円	△18万5千円	
		123万7千円	
		125万7千円	2万0千円

	施設名	令和6年度	使用料・手数料から充てられる金額
		令和5年度	前年度比較
社 会 教 育	中央公民館	3,668万0千円	28万7千円
		3,916万1千円	△248万1千円
	町民会館	1,248万2千円	49万8千円
		1,326万1千円	△77万9千円
	図書館	2,363万8千円	
		3,564万8千円	△1,201万0千円
	児童館	357万5千円	
		326万3千円	31万2千円
	食品加工センター	124万7千円	4万5千円
		123万0千円	1万7千円
	多目的運動公園（パークゴルフ場）	4,624万0千円	173万8千円
		4,344万6千円	279万4千円
	温水プール	3,060万6千円	34万0千円
		3,234万5千円	△173万9千円
	町民テニスコート	95万5千円	1万4千円
		99万4千円	△3万9千円
	運動広場（野球場）	711万6千円	14万3千円
		277万7千円	433万9千円
	達美野球場	19万1千円	3千円
		20万7千円	△1万6千円
	屋内ゲートボール場	164万3千円	8万7千円
		175万2千円	△10万9千円
	本岐地区多目的公園	82万1千円	
		79万0千円	3万1千円
	修武館	77万7千円	2万1千円
		108万5千円	△30万8千円
	スケートリンク	217万7千円	
		201万2千円	16万5千円
	ファミリースキー場	232万4千円	6千円
		232万3千円	1千円
	グレステンスキー場	224万5千円	
		164万8千円	59万7千円
農業者トレーニングセンター	2,282万1千円	81万5千円	
	1,456万3千円	825万8千円	
スポーツ交流館	65万9千円	3万0千円	
	66万0千円	△1千円	
本岐体育館	210万9千円	6千円	
	208万8千円	2万1千円	
学 校 教 育	小学校（1校）	2,725万1千円	2万1千円
		3,105万9千円	△380万8千円
	中学校（1校）	2,396万2千円	2万2千円
		2,806万3千円	△410万1千円
	スクールバス（小学校、中学校）	3,562万9千円	
		3,661万0千円	△98万1千円
給食センター	114万4千円		
	113万8千円	6千円	

合 計	令和6年度	町民1人あたりの管理経費
	令和5年度	前年度比較
※町民1人あたりの管理経費は、令和6年2月末の住民基本台帳人口4,061人で割ったものです。	13億5,317万7千円	33万3千円
	14億1,968万8千円	△6,651万1千円

町の貯金と借金

基金の残高

「基金」とは、特定の目的のために資金を積み立て、または運用するために設けられる資金、財産のことで、家計における預貯金のことをいいます。

基金名		令和6年度末残高見込	令和5年度末残高見込	前年度対比増減額
積立基金	財政調整基金	3億4,338万8千円	7億8,457万1千円	△4億4,118万3千円
	減債基金	1億6,950万3千円	3億3,039万1千円	△1億6,088万8千円
	公共施設等整備基金	5億3,405万7千円	6億394万9千円	△6,989万2千円
	地域振興基金	8億1,006万5千円	11億8,243万0千円	△3億7,236万5千円
	社会保障事業基金	3,306万4千円	4,377万4千円	△1,071万0千円
	福祉基金	3千円	2千円	1千円
	ふるさとつべつ応援基金	1億608万2千円	1億1,840万7千円	△1,232万5千円
	丸玉木材森づくり基金	2,823万5千円	2,891万4千円	△67万9千円
	津別21世紀の森基金	5,723万7千円	5,723万5千円	2千円
	公共交通確保対策事業基金	2億5,721万5千円	2億6,977万9千円	△1,256万4千円
	国営農地再編整備事業負担金支払基金	4億8万0千円	4億7万3千円	7千円
	森林環境譲与税基金	621万9千円	0千円	621万9千円
	病院施設整備基金	4億6,601万6千円	4億1万0千円	6,600万6千円
	小計	32億1,116万4千円	42億1,953万5千円	△10億837万1千円
運用基金	奨学基金	3,944万4千円	3,944万4千円	0千円
	用品等調達基金	120万0千円	120万0千円	0千円
	林産工業振興基金	4,000万0千円	4,000万0千円	0千円
	中小企業振興基金	2,000万0千円	2,000万0千円	0千円
	土地開発基金	4,813万2千円	4,813万1千円	1千円
	農業振興基金	6,000万0千円	6,000万0千円	0千円
	ふるさと水と土保全基金	1,000万0千円	1,000万0千円	0千円
	小計	2億1,877万6千円	2億1,877万5千円	1千円
国民健康保険基金	8,889万5千円	8,986万2千円	△96万7千円	
介護給付費準備基金	1,194万9千円	2,841万1千円	△1,646万2千円	
合計	35億3,078万5千円	45億5,658万4千円	△10億2,579万9千円	

地方債の残高

町が施設の建設や道路の整備などを行う際に、銀行などからお金を借りる制度を「地方債制度」といいます。また、この制度を活用してお金を借りることを「起債」といい、予算上の地方債の元利償還金と一時借入金利子の合算額を「公債費」といいます。

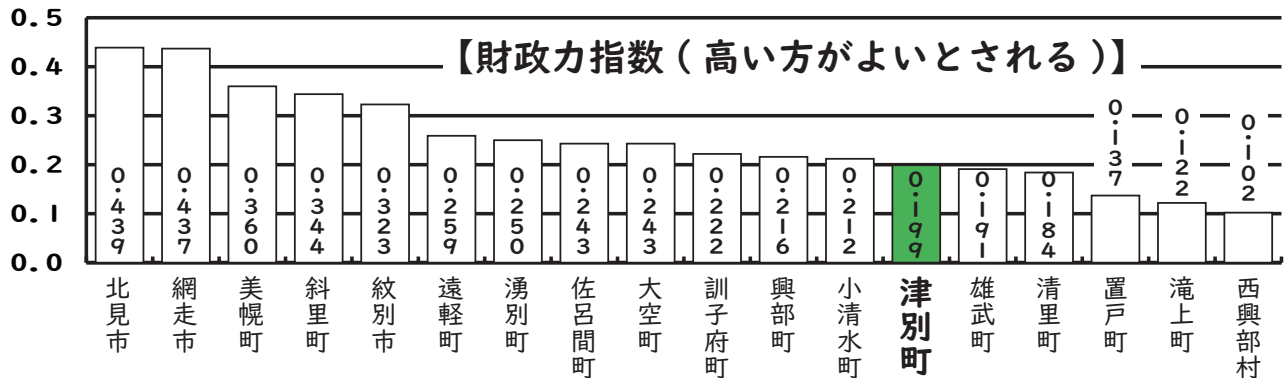
会計名	令和5年度末残高見込	令和6年度償還見込額	
		元金	利子
一般会計	100億6,008万8千円	9億1,869万2千円	2,058万4千円
簡易水道事業会計	11億8,815万0千円	2,963万0千円	1,199万0千円
下水道事業会計	14億3,632万5千円	8,999万0千円	904万7千円
合計	126億8,456万3千円	10億3,831万2千円	4,162万1千円

【用語解説】

基金名	解 説
財 政 調 整 基 金	財源に余裕がある場合は積み立てておき、大幅な収入減少や支出の増加などで財源が不足したときのために使われます。
減 債 基 金	町債（地方債）の償還のために使われます。
公 共 施 設 等 整 備 基 金	公共施設・設備の整備のために使われます。
地 域 振 興 基 金	地域振興のために自ら考え自ら実践する事業のために使われます。
ふるさとつべつ応援基金	ふるさと納税を原資としてふるさとつべつの個性あるまちづくりのために使われます。
公共交通確保対策事業基金	公共交通（まちバス）の管理、運営を行うために使われます。
社 会 保 障 事 業 基 金	社会福祉（生活保護、児童福祉、母子福祉、高齢者福祉、障害者福祉等）、社会保険（国民健康保険、介護保険、年金等）、保健衛生（医療・感染症その他の疾病、健康増進対策等）、その他少子化に対処するための施策を行うために使われます。
福 祉 基 金	保健・福祉の施策を行うために使われます。
丸玉木材森づくり基金	愛林のまちつべつの緑資源を守るために使われます。
津別21世紀の森基金	津別21世紀の森の運営及び管理に使われます。
国営農地再編整備事業負担金支払基金	国営農地再編整備事業を行うための負担金として使われます。
土 地 開 発 基 金	公用・公共用の土地、公共の利益のために必要な土地を取得するために使われます。
森 林 環 境 譲 与 税 基 金	森林の整備およびその促進のために使われます。
病 院 施 設 整 備 基 金	町内の病院施設の整備のために使われます。
奨 学 基 金	奨学金事業を行うための融資資金として使われます。
用 品 等 調 達 基 金	用品を取得、管理をするために使われます。
林 産 工 業 振 興 基 金	林産工業の振興を図るための融資資金として使われます。
中 小 企 業 振 興 基 金	中小企業の振興を図るための融資資金として使われます。
農 業 振 興 基 金	農業の振興を図るための融資資金として使われます。
ふるさと水と土保全基金	土地改良施設の機能を適正に発揮させるために、集落共同活動の強化を図るための調査、研究並びに研修に関する支援事業を行うために使われます。
国 民 健 康 保 険 基 金	国民健康保険事業の運営を円滑にするために使われます。
介 護 給 付 費 準 備 基 金	介護保険事業の介護給付及び財政運営を円滑にするために使われます。

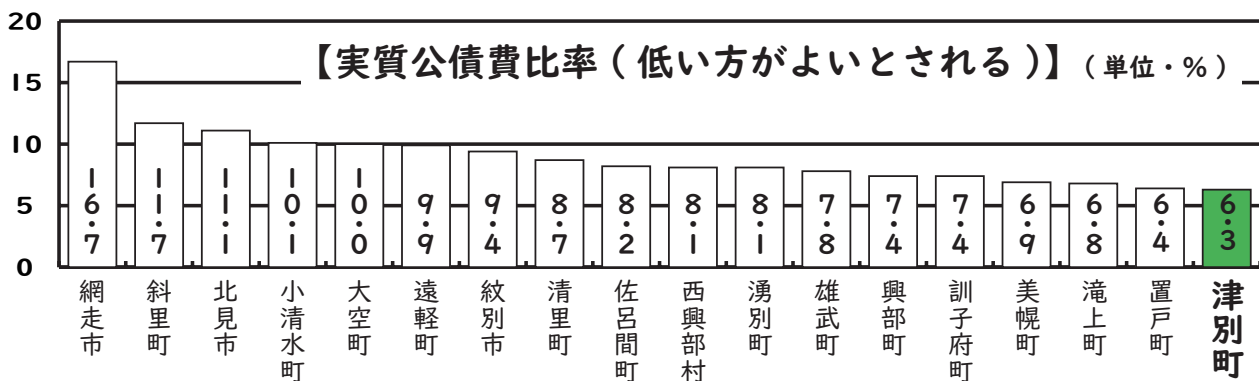
オホーツク管内市町村との比較

オホーツク総合振興局管内の18市町村の主要指標を、グラフで比較しました。
この指標は、「令和4年度決算統計」によるものです。



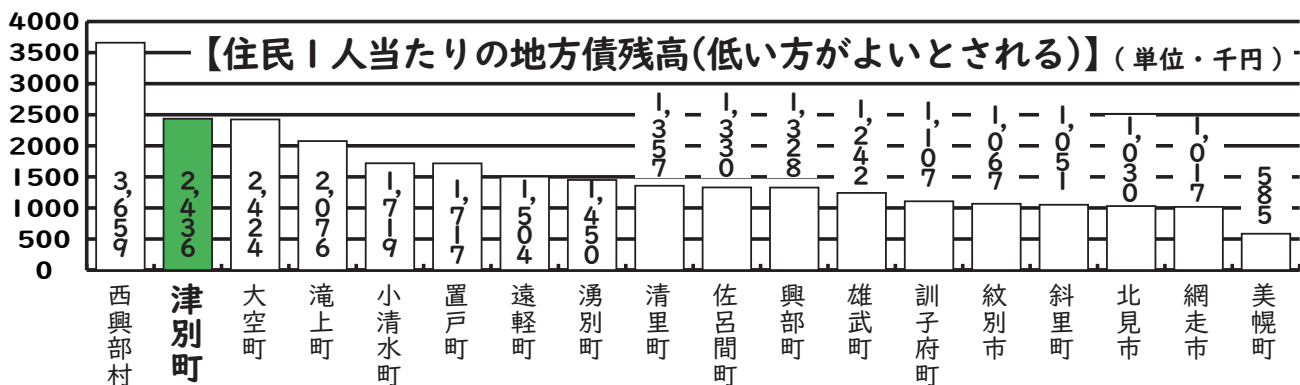
財政力指数とは、地方交付税を算定する上で人口10万人の架空の市を想定し、その市が必要とする収入（基準財政収入額）と支出（基準財政需要額）が同額、つまり「1」であれば均衡が取れている状態であり、「1」より少ないほど自主財源が乏しく、その分交付税に頼ることになります。

財政力指数は、3年間の平均値で表されますが、津別町は管内では18市町村中13番目（前年度18市町村中13番目）となっています。



地方公共団体の借入金（地方債）の返済額（公債費）の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものです。

管内平均では8.9%（前年度8.9%）となっております。津別町は管内では18市町村中の18番目（前年度18市町村中14番目）です。実質公債費比率が18.0%以上となった市町村は、引き続き地方債の発行に都道府県の許可が必要とされています。

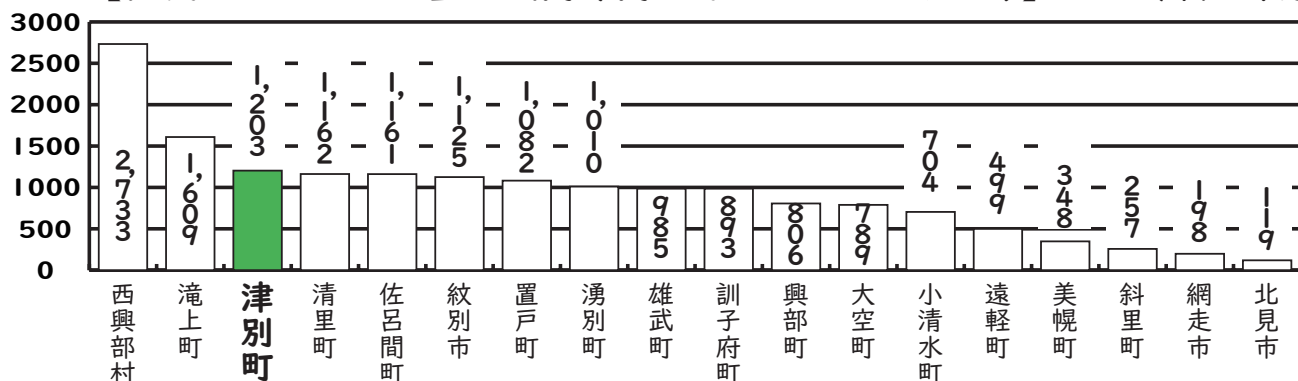


人口1人当たりの地方債の残高については、津別町は管内では18市町村中2番目（前年度は18市町村中3番目）です。

※低い方がよいとされていますが、交付税で措置されるものが含まれているため、単純に比較はできないものです。

【住民1人当たりの基金残高（高い方がよいとされる）】

（単位・千円）

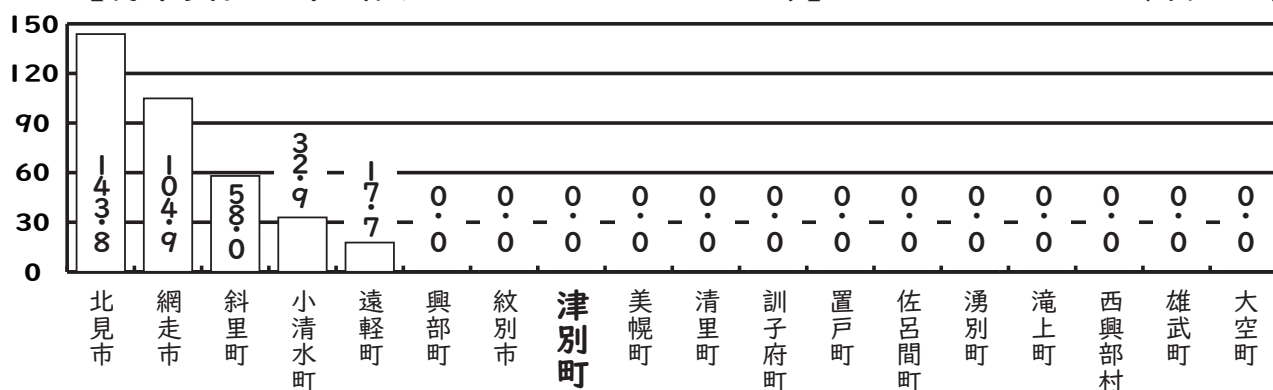


基金（財政調整基金、減債基金、その他特定目的基金※）の人口1人当たりの残高です。

※その他特定目的基金…本町の場合は、公共施設等整備基金、地域振興基金、公共交通対策基金等
津別町は管内で18市町村中3番目（前年度は18市町村中3番目）です。

【将来負担比率（低いほうがよいとされる）】

（単位・%）



将来負担比率は、収入に対する将来町が負担する借金などの割合です。津別町は、平成20年度以降は将来負担比率は生じていません。

【実質赤字比率】

地方公共団体の最も重要な会計である一般会計等に生じている赤字の大きさを、地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものです。

オホーツク管内の18市町村は、実質赤字比率は生じていません。

【連結実質赤字比率】

上記の実質赤字比率の基準である一般会計等に加え、公立病院や水道などの公営企業会計を含めた、地方公共団体の全会計に生じている赤字の大きさを、財政規模に対する割合で表したものです。

オホーツク管内の18市町村は、実質赤字比率と同様、連結実質赤字比率は生じていません。



令和6年度津別町のしごと

発行 津別町役場

〒092-0292

北海道網走郡津別町字幸町41番地

TEL: 0152-76-2151 (代表)

FAX: 0152-76-2976

編集 津別町役場住民企画課企画係